

## 第71回（秋季）通常総会 議事概要（ウェブ会議）

全国公立短期大学協会（会長・柳沢幸治 大月市立短期大学長）は、令和3年10月26日（火）に、ウェブ（ホスト会場；AP虎ノ門会議室）により第71回（秋季）通常総会を開催。加盟大学学長、事務局長等関係者37名が出席した。

午前11時に開会、柳沢会長の挨拶の後、来賓の文部科学省高等教育局大学振興課長新田正樹氏から挨拶に続き「高等教育を巡る文教政策について」の説明が行われた後、質疑応答が行われた。

次いで、総会議事に入り、会務報告の後、審議事項（1）次年度の春季通常総会の日程や開催方法、（2）令和4年度予算編成方針及び会費（令和4年度予算の編成に際しては、「令和2年度の新規会員分は、これを加算する。」とあるのを削除し、「概ね832万円を標準額（目安）（平成21年度予算額を標準としたゼロベース。厚生年金及び健康保険に係る事業者負担額（32万円）を含む。）として編成する。」こととされた。）、（3）次期役員を選出等について審議が行われ、原案通り承認された。

「研究協議1」はシンポジウム形式で行われ、副会長の阿部宏慈氏（米沢短期大学学長）の司会進行のもと、元会長の東福寺一郎氏（前三重短期大学学長）の基調講演「コロナ収束後の公立短期大学の在り方」に続いて、公立短期大学のあるべき姿や今後の課題について活発な意見交換が行われた。

「研究協議2」における「学長の実践事例発表」では、副会長の村井美代子氏（三重短期大学学長）の司会進行のもと、安達励人氏（倉敷市立短期大学学長）及び塩地洋氏（鹿児島県立短期大学学長）から、それぞれ実践に基づく発表が行われた後、意見交換が行われた。

「研究協議3」は各大学から提案された課題についての協議で、大月短期大学から提案された「就職活動の早期化傾向への対応」、「就職志望と求人のアンマッチへの対応」、「ハイブリッド授業の成功例」ほか、また、三重短期大学から提案された「ディプロマポリシーと学習成果の測定方法」について、それぞれ提案大学からの趣旨説明と、これに対する参加者との意見交換が行われた。

研究協議終了後、大学振興課短期大学係東主任から、政策上の支援体制等について助言があった。16時40分に柳沢会長の挨拶をもって終了した。（了）